

富山県感染症発生動向速報

(2025 年第 43 週分・10 月 20 日～10 月 26 日)

■今週の主な動向

○インフルエンザが流行入りの目安である 1.0 人/定点を超えました。

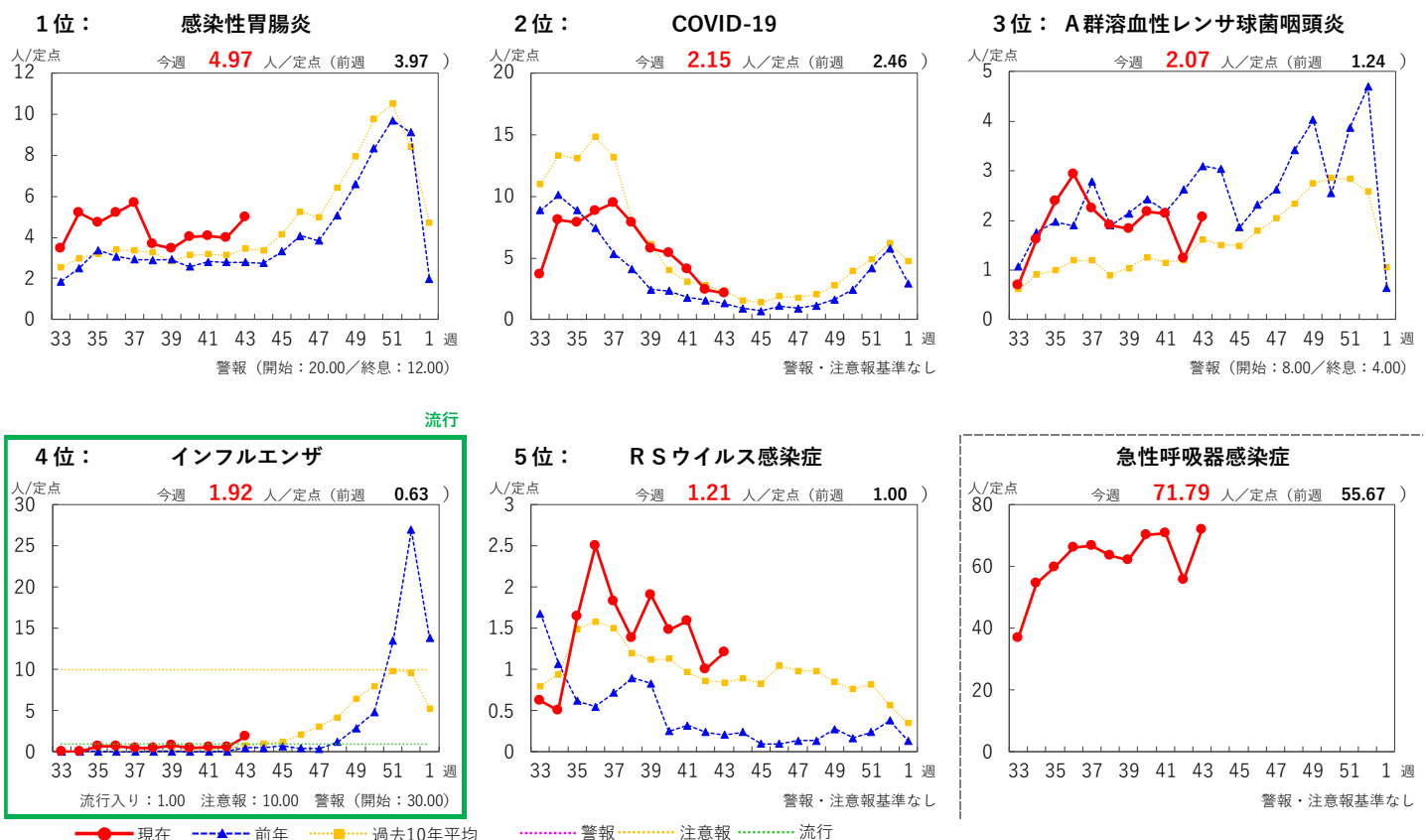
県内の患者報告数は 1.92 人/定点となり、流行入りの目安である 1.0 人/定点を超え、流行期に入ったと考えられます。手洗いや咳エチケット、換気などの基本的な感染対策を心がけ、インフルエンザワクチンの接種を検討しましょう（[インフルエンザの疫学所見](#)、今週のインフォメーション参照）。

○感染性胃腸炎に注意しましょう。

感染性胃腸炎は、嘔吐、下痢を主症状とする感染症で、例年冬季に報告数が増加する傾向があります。ウイルスや細菌などが主に食品や手指を介して口から入ることによって感染するため、トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗って予防しましょう。

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位 5 疾患 + 急性呼吸器感染症（第 43 週・10/20～10/26）

厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

■全数報告の感染症

四類感染症 E 型肝炎 1 件（50 歳代、男性）

レジオネラ症 1 件（50 歳代、男性、肺炎型）

五類感染症 百日咳 2 件（①②ともに 10 歳未満、男性）



富山県感染症情報センター（富山県衛生研究所内）

TEL：0766-56-5431（直通）

HP：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>



富山県も流行入り！ インフルエンザ

《 インフォメーション 》

●インフルエンザ

インフルエンザは例年冬季から春季にかけて流行する季節性があります。流行時期に合わせ、毎年第 36 週（8 月末～9 月初旬）から翌年の第 35 週までの 1 年間をインフルエンザシーズンとして情報提供が行われています。

全国のインフルエンザ患者報告数は、第 39 週から流行入りの目安である 1.0 人/定点を超え、増加傾向が継続しています（下図、赤点線）。第 42 週時点で 3.26 人/定点となり、36 都道府県が流行入りしています。

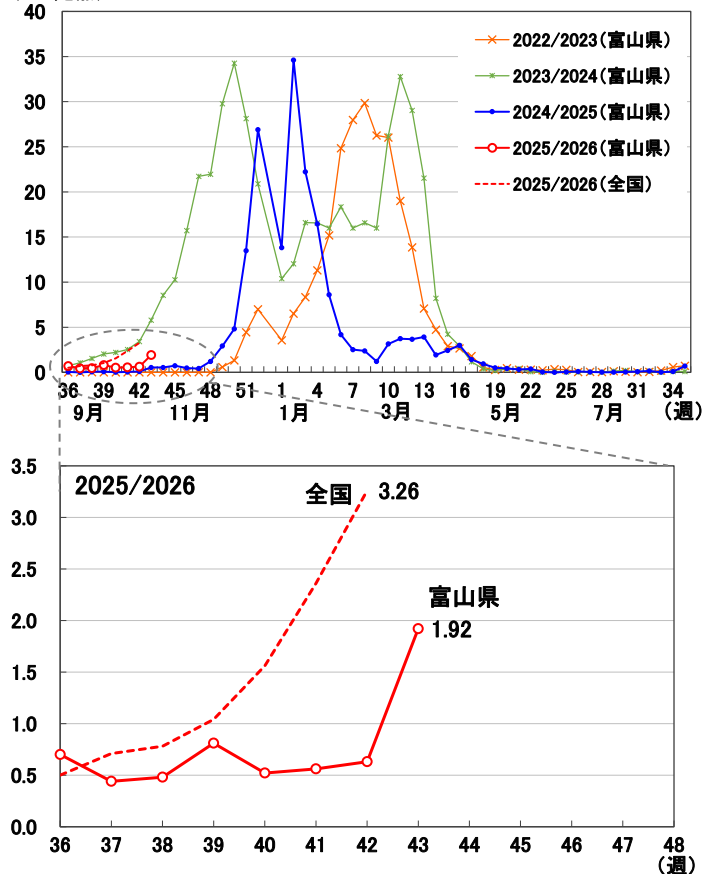
富山県では今週 1.92 人/定点の報告がありました（下図、赤実線）。全国より遅れて、流行入りの目安である 1.0 人/定点を超え、流行期に入ったと考えられます（[10/29 報道発表資料](#)）。インフルエンザウイルスの型別は A 型が主体となっており、患者の年齢は 5～9 歳の小児を中心に報告されています。

また、第 40 週から小学校における学級閉鎖等が毎週報告されています（[富山県インフルエンザ関連情報](#)）。今後、小児だけでなく成人への感染拡大も懸念されます。

インフルエンザワクチンはインフルエンザの発症をある程度予防し、重症化を防ぐ効果があります。65 歳以上の方や 60 歳以上 65 歳未満で心臓、腎臓、呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に重度の障害を有する方は、市町村が実施する「定期予防接種」の対象者となり、接種費用の一部が助成されます。また、未就学児、小中学生は各市町村からの助成があり、市町村によっては、高校生や妊婦も助成の対象となります。制度の内容等については、お住まいの市町村の HP 等をご参照ください。県内は流行期に入ったことから、速やかなインフルエンザワクチンの接種を検討しましょう。

インフルエンザの主な感染経路は飛沫、接触感染です。「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」等の基本的な感染対策を心掛けましょう。また、発熱や咳等の症状がある場合は無理せず登園や通学、出勤を控えるようにしましょう。

（人/定点）インフルエンザ患者報告数の推移（全国・富山県）



○感染症発生動向調査報告状況（2025年第43週 2025年10月20日～2025年10月26日）

分類		疾患	今週報告分（第43週）						累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）						
			新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核							6	2	18	13	40	79	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く							5	1	11	7	26	50	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症							2	1	7	3	4	17	
	四類感染症	E型肝炎					1	1				5		1	6
		A型肝炎									1	1		1	3
		重症熱性血小板減少症候群（SFTS）										1			1
		デング熱										1			1
		レジオネラ症					1	1			1	3	3	16	23
	五類感染症	アメーバ赤痢										1		2	3
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症										4		5	9
		急性脳炎										1	1	1	3
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		3			9	13
		後天性免疫不全症候群（H I V感染症を含む）												1	1
		ジアルジア症											1		1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症							2		1	2	4	9	
		侵襲性肺炎球菌感染症							5		8	4	18	35	
		水痘（入院例）							1		1			2	
		梅毒							5	1	8	4	28	46	
	百日咳		1			1	2	29	142	147	44	274	636		
	風しん											1		1	
急性呼吸器感染症（ARI）定点（48定点）	急性呼吸器感染症（※1）	340	272	1,074	228	1,532	3,446	8,394	7,605	28,665	7,004	36,063	87,731		
		48.57	54.40	82.62	32.57	95.75	71.79								
	インフルエンザ			44	13	35	92	956	886	1,754	1,013	2,022	6,631		
				3.38	1.86	2.19	1.92								
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	COVID-19		19	5	19	28	32	103	1,603	683	1,858	1,412	1,742	7,298	
			2.71	1.00	1.46	4.00	2.00	2.15							
		R Sウイルス感染症	2	1	15		17	35	56	55	327	57	387	882	
			0.50	0.33	1.88		1.70	1.21							
	小児科定点（29定点）	咽頭結膜熱		1	7			8	75	43	309	4	104	535	
				0.33	0.88			0.28							
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	4	24	2	27	60	155	252	1,585	205	2,195	4,392	
			0.75	1.33	3.00	0.50	2.70	2.07							
		感染性胃腸炎	31	17	8	2	86	144	1,142	692	1,493	538	4,741	8,606	
			7.75	5.67	1.00	0.50	8.60	4.97							
		水痘		2	9	1		12	10	88	59	26	299	482	
				0.67	1.13	0.25		0.41							
		手足口病					2	2	4	8	60	17	70	159	
							0.20	0.07							
		伝染性紅斑	1		8	4	4	17	135	327	769	152	1,231	2,614	
			0.25		1.00	1.00	0.40	0.59							
		突発性発しん	1			1	3	5	11	24	122	32	147	336	
			0.25			0.25	0.30	0.17							
		ヘルパンギーナ		2	1		7	10	29	54	289	62	222	656	
				0.67	0.13		0.70	0.34							
流行性耳下腺炎							3	12	7	9	27	58			
眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎									5	95		100		
	流行性角結膜炎	1				1	2	7	19	29	26	3	84		
		1.00				0.50	0.29								
基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎											1	1	2	
	無菌性髄膜炎											1		1	
	マイコプラズマ肺炎				1	2	3	27	9	37	31	13	117		
				1.00	2.00	0.60				5			5		
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）					1	1			2	1	1	4		
	COVID-19による入院患者	1				3	4	123	111	99	149	300	782		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2025年第36週（9/1～）の集計です。

インフルエンザ情報（富山県の型別患者報告状況）

このデータは、定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

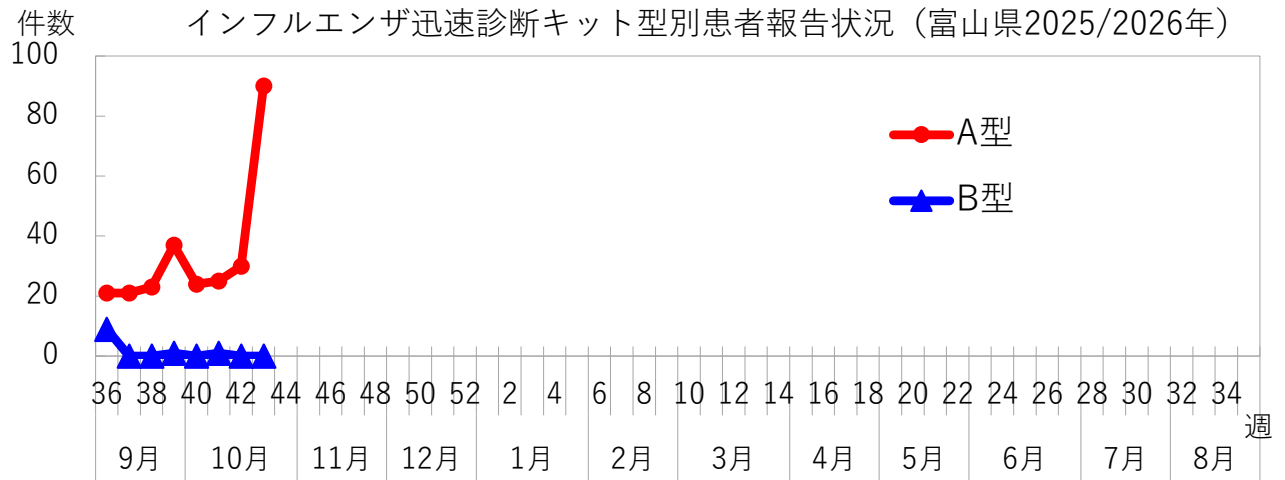
現在、下の表によると、A型が97.8%となっています。

第43週（10/20～10/26）：富山県 1.92人/定点（単位：件）

厚生センター・ 保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他※2	合計
		A型	B型		
新川	0 / 7	0	0	0	0
中部	0 / 5	0	0	0	0
高岡	7 / 13	42	0	2	44
砺波	5 / 7	13	0	0	13
富山市	10 / 16	35	0	0	35
富山県	22 / 48※1	90	0	2	92
富山県累計（2025年36週～）		271	11	8	290

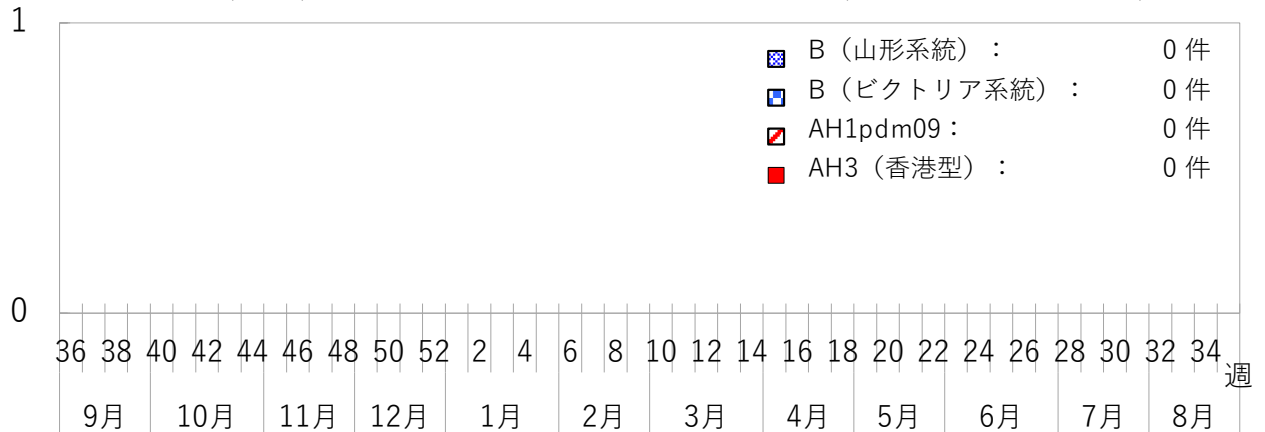
※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が22か所あったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



件数

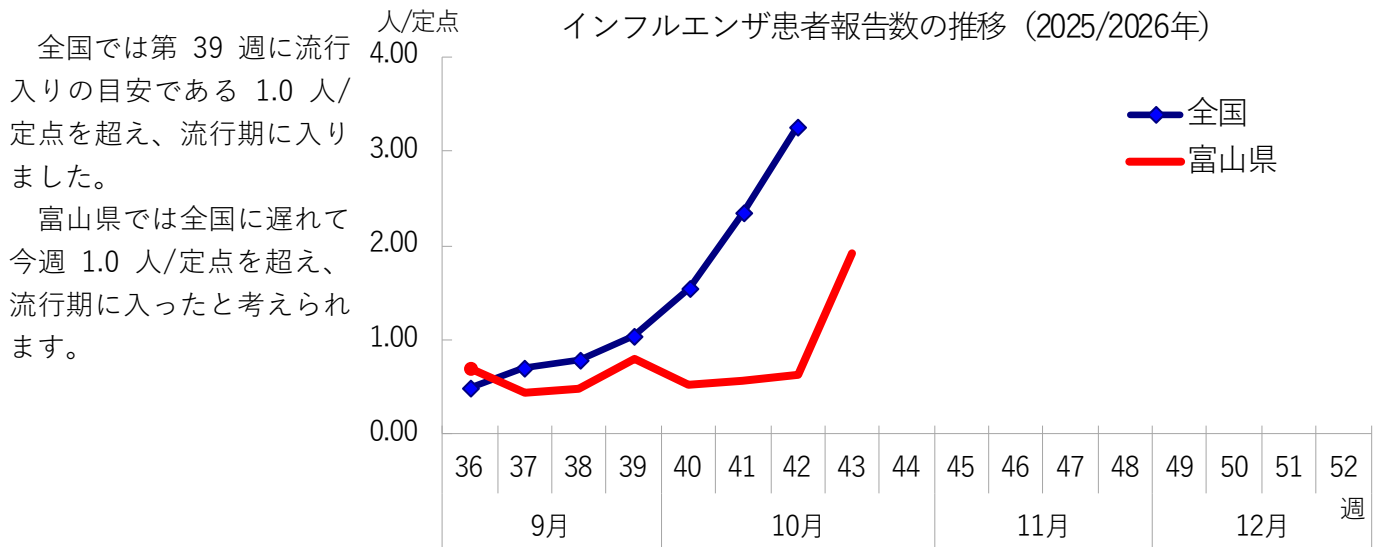
（参考）インフルエンザウイルス検出状況（富山県2025/2026年）



インフルエンザ情報（全国、富山県の患者報告状況）

● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況 第 43 週（10/20～10/26）

富山県 1.92 人/定点 [新川（0.00）、中部（0.00）、高岡（3.38）、砺波（1.86）、富山市（2.19）]



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 42 週（10/13～10/19）

全国 of 患者報告数は、定点医療機関あたり 3.26 人となり、前週の 2.36 人より増加しました。37 都道府県で前週より増加しています。10 府県で前週より減少しています。

